

公益社団法人日本地震学会 2024 年度第 4 回理事会議事録

1. 日 時 2024 年 9 月 9 日 (月) 13:30~17:00
2. 場 所 Zoom を利用したビデオ会議により開催
議長の所在: 京都大学大学院理学研究科 京都府京都市左京区北白川追分町
議事録作成者の所在: 日本地震学会事務局 埼玉県さいたま市大宮区仲町 2-80-1 KS・Dio 205
3. 理事数 15 名
4. 出席者 理事 13 名, 監事 2 名
 - ・理 事: 久家慶子, 浅野陽一, 加藤愛太郎, 加納靖之, 武村俊介, 土井恵治, 中原 恒, 西田 究, 馬場俊孝, 廣瀬 仁, 宮澤理稔, 室谷智子, 八木勇治
 - ・監 事: 植竹富一, 谷岡勇市郎
 - ・事務局: 中西のぶ江, 岡野美紀子

5. 審議事項

議長久家慶子は, 理事 13 名及び監事 2 名出席のもとに理事会を開催し, 以下の議案について審議に入った。

第 1 号議案 令和 6 年度日本地震学会特別シンポジウムの開催について

加藤理事(地震学を社会に伝える連絡会議担当)より, 令和 6 年度日本地震学会特別シンポジウムについて, 地震学を社会に伝える連絡会議で検討した企画の説明が行われた。タイトル案「最新地震科学で備える南海トラフ地震」, 2025 年 2 月 22 日に徳島大学を会場とし, 一般を対象としたハイブリッド形式とすること, 講師 3 名による講演および講師のほかパネリストを招きパネルディスカッションを行う予定であるとの説明があった。会場費等の費用の節約から徳島大学が主催, 地震学会が共催で実施することとし, シンポジウム名は徳島大学と調整することで, 企画を承認した。

第 2 号議案 事務局職員俸給月額表等の見直しについて

宮澤常務理事より, 8 月 8 日付の人事院給与勧告に基づいて, 給与規定に定められた俸給月額表の見直しを行うことが提案された。審議の結果, 原案の通り俸給月額表の見直しおよび給与規定の改定を承認し, 本年 4 月に遡及して適用することとした。また賞与については人事院勧告に基づく調整を行っていなかったことから, 賞与について過去の記録を確認し, 今後見直しを検討する。

第 3 号議案 EPS 誌の来年度の分担金について

廣瀬理事(欧文誌運営担当)より, EPS 誌の来年度の分担金について, 5 学会の覚書案と合わせて説明が行われた。審議の結果, 原案の通り 2025 年度の運営分担金は, 例年から一割減となる 90 万円とすることが承認された。

第4号議案 入会承認について

宮澤常務理事から、入会申請者の承認に関する件について諮られ、審議の結果、正会員に申し込みのあった61名（内学生48名）の入会を全会一致で承認した。また、提出された学生会費適用申請書を承認した。

6. 報告事項

業務執行理事及び事務局より報告が行われた。

1. 事務局より、正会員1名（内、学生0名）および名誉会員1名の退会手続きを行ったとの報告があった。
2. 深畑理事（地震編集担当）より、提出された資料に基づき宮澤理事から報告が行われた。地震（学術論文部）の編集状況について冊子体9月号に寄書2編を掲載し会員専用ページにてオンライン公開したこと、投稿規定のオープンアクセス方針を改定したこと、「地震」の非公開期間を短縮したことにより制限期間の解除を巻毎ではなく号毎に行う方針としたことが報告された。
3. 武村理事（学会情報誌編集担当）より、業務執行報告が行われた。『地震（ニュースレター部）』及び定期メールニュースの発行を滞りなく行っていること、記事のアーカイブ化を検討中であることが報告された。またメールニュースについては南海トラフ臨時情報の発出について臨時号を配信したことが報告された。
4. 西田理事（大会・企画担当）より、業務執行報告が行われた。2024年度秋季大会のプログラム編成、「2024年8月8日 日向灘の地震とその影響」の緊急セッションの立ち上げ、受賞記念講演について、2026年大会の準備状況、今後の委員会開催予定が報告された。受賞記念講演について、2024年度は受賞者を決定する理事会の開催から受賞記念講演の投稿手続きまでのスケジュールが短かったとの報告があり、今後の大会時期によっては、理事会の開催時期および受賞記念講演の投稿期限や公募時期の調整等で対応を検討してはどうかとの意見があった。
5. 廣瀬理事（欧文誌運営担当）より業務執行報告が行われた。2024年8月29日にEPS誌運営委員会が開催されたこと、2023年度会計の監査をうけ、適正であると判断されたことが報告された。また、特集について質問があり、加藤副会長より能登半島地震の特集は募集中であること、兵庫県南部地震から30年について現段階では企画はまだないことが回答された。
6. 中原理事（強震動担当）より業務執行報告が行われた。2024年10月20日に開催予定である第43回強震動研究会では、新潟大学から片桐昭彦准教授を講師に迎え、講

演題目：「前近代における地震と史料」として講演いただく予定であること、2024 年 11 月 25 日に開催予定である「強震動予測－その基礎と応用」第 23 回講習会の準備状況が報告された。

7. 室谷副会長（ダイバーシティ推進担当）より、業務執行報告が行われた。ダイバーシティ推進委員会に情報提供があった、JpGU 時の地震学会定時社員総会開催に関する地震学会会員からの意見が紹介された。紹介された意見も参考に、今後の定時社員総会の開催時期や開催形式について検討することとした。
8. 篠原理事（広報担当）より提出された資料に基づき宮澤理事から報告が行われた。2024 年 9 月 5 日に開催された広報委員会議事録が提示され、学会への質問の状況、秋季大会期間中の記者懇談会の準備状況、広報委員会担当理事の決定について報告を行ったこと、nfm1 は ML 名を変更し継続運用することを決定し、今後具体的な運営の予定を決めること、学会 WEB ページの古い情報整理を行うこと、なみふる 140 号の掲載記事候補の決定、なみふる 139 号の校正を行ったことが報告された。
9. 加納理事（学校教育担当）より業務執行報告が行われた。2024 年 8 月 21 日～22 日に開催された 2024 年度教員サマースクールの実施報告、2024 年 10 月 20 日に開催予定である 2024 年度地震の教室の準備状況が報告された。
10. 加納理事（普及行事担当）より業務執行報告が行われた。2024 年 8 月 7 日～8 日に開催された 2024 年度地震火山地質こどもサマースクール吉野川大会の実施報告、2025 年度以降の地震火山こどもサマースクールの開催予定および開催地公募状況について報告された。今後の開催地の決定時期について質問があり、2026 年以降については締め切りまでに応募がなく開催地候補へ打診中であること、例年より決定が遅れているが事業予定についてはまだ支障はないとの回答があった。
11. 土井理事（ジオパーク支援）より業務執行報告が行われた。2024 年 8 月 30 日～9 月 1 日に開催された日本ジオパーク全国大会において、全地域事務局長会議で土井理事からジオパーク支援委員会の活動紹介および 2024 年 11 月 22 日に開催する地震学習会を紹介したこと、8 月 31 日に松原委員による委員会活動のポスター発表を行ったことが報告された。

7. 意見交換

以下の意見交換があった。

1. 宮澤常務理事より、メールニュース No.183 において会員の若手有志が行うアンケートの周知を行った経緯について説明が行われ、今後、同様の協力依頼が来た場合に備えて取り決めを設けることを目的に意見交換を行いたいとの提案があった。意

見交換の結果、依頼対応についてはケースバイケースになるが、アンケート調査協力依頼における学会内の責任の所在を明確にすることと理事会で情報共有を行うことを前提に、今回出された意見を元に取り決めの制定について検討を行うこととした。

2. 宮澤常務理事より、前期理事会からの検討事項として将来構想検討 WG を設置するにあたり、その議論内容や体制、設置期間等について意見交換を行いたいとの提案があった。議論内容については 2023 年理事会意見交換会の議題となっていた「若手・学生会員の活動活性化について」「学会の方向性について」「会員減少への対策について」の検討とともに行動計画 2012 の再検討及び見直しを WG で検討してはとの説明があった。若手を支援できるような仕組みや若手の学会活動への参加について、ダイバーシティに配慮した WG メンバーについて、今期の理事会の任期中にまとめることを目標とするなどの意見があった。今回は時間が限られていることから引き続き WG の議論内容や体制について意見交換を行うこととした。
3. 事務局より旅費規定で定める宿泊費の上限金額の改定について意見を聞きたいとの提案があった。宿泊費の値上がりを受け、学会の定める宿泊費上限を超えるケースが現在のところ年数件程度あること、上限を超える宿泊費についても妥当性があれば現在の規定でも支出が可能であることが説明された。上限を超える宿泊費の支出には協議が必要なことから、宿泊費上限を 15,000 円程度に上げてよいのではないかという意見、地震学会が定める宿泊費上限は他学会の宿泊費上限に比べ安価ではないことから、しばらくは現状のままでよいとの複数意見があった。意見交換の結果を受け、宿泊費の上限は改定しないこととした。
4. 加納理事より「地球にわくわく未来ガイド」への広告原稿案について意見交換をしたいとの提案があった。意見交換の結果、昨年 of 広告案から写真および背景の波形を差し替えること、高校生向けに参考となる学会 WEB ページの二次元コードを追記することとした。